

**貸 借 対 照 表**  
平成28年3月31日 現在

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流動資産	279,244,557	289,910,261	△ 10,665,704	流動負債	35,922,913	46,984,148	△ 11,061,235
現金預金	198,553,684	204,371,973	△ 5,818,289	短期運営資金借入金	0	0	0
その他の現金預金	9,000,000	9,000,000	0	事業未払金	25,847,553	36,966,713	△ 11,119,160
有価証券	0	0	0	1年以内返済予定設備資金	10,008,000	10,008,000	0
事業未収金	69,382,479	74,521,157	△ 5,138,678	1年以内返済予定リース債	0	0	0
未収金	225,340	317,505	△ 92,165	預り金	67,360	9,435	57,925
貯蔵品	0	0	0	前受金	0	0	0
立替金	783,340	0	783,340	借入金	0	0	0
前払金	0	0	0	引当金	0	0	0
前払費用	1,299,714	1,699,626	△ 399,912	その他の流動負債	0	0	0
短期貸付金	0	0	0				
仮払金	0	0	0				
その他の流動資産	0	0	0				
固定資産	810,582,926	839,487,608	△ 28,904,682	固定負債	63,199,229	66,779,342	△ 3,580,113
基本財産	579,481,103	604,638,425	△ 25,157,322	長期設備資金借入金	16,640,000	26,648,000	△ 10,008,000
建物	578,481,103	603,638,425	△ 25,157,322	長期運転資金借入金	0	0	0
土地	0	0	0	退職給与引当金	46,559,229	40,131,342	6,427,887
基本財産特定預金	1,000,000	1,000,000	0	引当金	0	0	0
その他の固定資産	231,101,823	234,849,183	△ 3,747,360	負債の部合計	99,122,142	113,763,490	△ 14,641,348
建物	0	0	0	純 資 産 の 部			
構築物	2,961,772	3,176,306	△ 214,534	基本金	111,757,858	111,757,858	0
機械及び装置	0	0	0	基本金	111,757,858	111,757,858	0
車輛運搬具	3,908,641	3,079,767	828,874	国庫補助金等特別積立金	182,479,953	190,987,896	△ 8,507,943
器具及び備品	12,329,484	9,870,935	2,458,549	その他の積立金	143,038,811	192,024,996	△ 48,986,185
土地	20,000,000	20,000,000	0	移行時特別積立金	0	0	0
建設仮勘定	0	6,768,400	△ 6,768,400	その他の積立金	143,038,811	192,024,996	△ 48,986,185
権利	424,920	424,920	0				
ソフトウェア	1,878,966	2,358,702	△ 479,736	次期繰越活動収支差額	553,428,719	520,863,629	32,565,090
投資有価証券	0	0	0	次期繰越活動収支差額	520,863,629	554,295,654	△ 33,432,025
長期貸付金	0	0	0	当期活動増減差額	32,565,090	△ 33,432,025	65,997,115
退職給付引当資産	46,559,229	40,131,342	6,427,887	(うち当期活動収支差額)	26,565,090	46,567,975	△ 20,002,885
その他の積立預金	143,038,811	149,038,811	△ 6,000,000				
その他の固定資産	0	0	0	純資産の部合計	990,705,341	1,015,634,379	△ 24,929,038
資産の部合計	1,089,827,483	1,129,397,869	△ 39,570,386	負債及び純資産の部合計	1,089,827,483	1,129,397,869	△ 39,570,386

脚注

- 1.減価償却費の累計額 556,211,460 円  
2.徴収不能引当金の額 0 円

注記

- 1 重要な会計方針  
(1) 貯蔵品の評価方法 総平均法  
(2) 有価証券の評価方法 移動平均法
- 2 重要な会計方針の変更  
はまゆう会退職金制度を創設し、年度末時点の対象者分を本部会計退職給付引当金に計上する。
- 3 基本財産の増加  
無し
- 4 基本金及び国庫補助金等特別積立金の取り崩し  
無し
- 5 担保に供されている資産の種類及び金額  
無し
- 6 重要な後発事象  
無し